

代表取締役社長
松山 哲人



あけましておめでとうございます。

昨年は、当社にとって転機の年となりましたが、皆様からの暖かいご支援を頂戴し、誠にありがとうございました。

研究開発におきましては、抗がん剤領域における開発競争の激化や市場環境の変化などもあり、想定以上の時間がかかってしまいました。このような状況を打開し、未来に向け大きく前進するため、昨年 11 月に経営体制の刷新を図りました。

現在進めている臨床試験におきましては、早期に承認申請やライセンスアウトが出来るよう全社一丸となって、推進してまいります。

当社にとって、ミセル化ナノ粒子技術は根幹の技術であり、創薬領域では常に技術の進歩の真っ只中にあります。これを第一の柱として推進することに加えて、オープンイノベーションで新しい技術等を取り込み、第二の柱を早期に事業化したいと考えております。

このような取り組みを、新体制のもと、スピード感をもって推進し、ナノテクノロジーを用いた医薬品とサービスの提供を通じて新たな価値を創造し、人々の健康と幸福に貢献してまいります。

引き続き、ご支援賜りますよう心よりお願い申し上げます。

末筆になりますが、本年が皆様にとって良い年となりますことを祈念いたします。

2020 年 1 月元旦